

生徒と乳幼児の親子の触れ合いサポート事業

大阪府立箕面東高校

『生命を考える授業』

2021 年度報告書

NPO法人はんもっく  
大阪府立箕面東高校



## I. 箕面東高校『生命を考える』授業

開催場所:大阪府立箕面東高校(箕面市粟生外院5丁目4番63号) 2階総合実習室B

授業:社会福祉入門・生命を考える:火曜5・6限目(13:30~15:20)・3・4限目

授業担当:NPO 法人はんもっく 遠山美穂子・鳥崎路子・田中秀美

箕面東高校教諭 社会福祉入門:門田健司 生命を考える:村上淳一、梶原大地

今年度はコロナ感染対策のため、中止が相次ぎ開催は3回。時間を短縮し、前半親子参加、後半次回準備としました。時間帯:13:30~14:30 親子ふれあい授業 14:40~15:20 レポート・次回の準備

親子ふれあい授業の定番プログラム:1. あひるのダンス 2. 手遊び 3. お名前呼び 4. 親子遊び など

日替わりプログラムでは、2グループに分かれ、①こどもたちとの遊び ②話し合いを行ないました。

コロナウイルス感染対策のため、保護者と学生との話し合いは、主に保護者の話題を中心に行いました。

月日	スタッフ	参加人数	日替わりプログラム	保護者から話を聞く
7月13日 社会福祉入門	当団体3 +教諭2	参加2組子ども計4 学生8	遊び:コマ・魚釣り・パック積木 準備:牛乳パック電車	育児で大変なこと・出産のお話
10月12日 生命を考える	当団体3 +教諭2	参加3組子ども計5 学生8	遊び:コマ・魚釣り・パック積木 準備:でんでんたいこ	育児で大変なこと
11月30日 生命を考える	当団体3 +教諭2	参加1組子ども計3 学生8	遊び:クリスマスバッグ作り他 準備:羽子板	子育てしていてうれしいこと、 よかったこと

6/15:スタッフのみ準備, 9/7, 9/21, 10/19, 1/18 中止

7/13 手作りおもちゃ、魚釣り コマ、牛乳パックつみきなどで遊びました。ママさん方からお話を伺い、「立ち会い出産してほしい？」など、学生さんとお話しました。



10/12 コマを作るのを学生さんに手伝ってもらいました。初めは緊張していたり、恥ずかしかったり距離がありましたが、終る間際とても楽しそうに学生さん遊べるようになって、終るのが惜しかったです。話し合いは育児で大変なこと;「寝る時間が少ない」「自分の時間がない」などたくさんお話をいただきました。

11/30 クリスマスブーツパックお絵描き、白いお花紙やシールをペタン。学生さんのお手伝いしてくれて楽しく作成していました。

「ストレートにママ好きーと言って抱きついてくれるのが嬉しい」「健康で笑顔でいくれるだけで嬉しい」など、

温かいお話をしてくださり、学生さんに質問もあり、和やかな雰囲気での話し合いでした。



2 時間目の工作は、いつも真剣に取り組んでくれて、ステキな作品がたくさん出来上がりました。



## 生命の授業について今年度の授業の感想

### 母より

\* 改めて日々の子育てのことを考えることがないので、他のママさんのお話を聞き、我が子もそうだったなと懐かしくお話を聞いていました。学生さんも真剣に話を聞いてくれました。普段学生さんとお話する機会がないので、私にとっても嬉しい時間です。

娘も学生さんたちともたくさん遊べて、お土産までもらigo機嫌で帰れたのでとても助かりました。

\* コロナ禍でどこに行っても自己紹介等の交流の機会がなくなってる中、自分の体験をお話したり、学生さん達も話をしっかり聞いてくれて嬉しかったです。

他のママさんの育児話も聞けて有意義に過ごす事ができました。交流を通して改めて自分の子育てをふりかえることができよ機会になりました。学生さん達のお話も新鮮でした。学生さん達が娘を可愛がって一緒に遊んでくれているのも微笑ましく思いました。娘は工作の長靴もわんちゃんもとても気に入っていて、ずっと大事にしています。



### スタッフより

今年度もコロナ禍で3回のみ開催になりました。

小さなこどもたちが教室に入ってくるとかわいい嵐。こどもたちは場所見知り人見知り時期のお子さんもおられ恐る恐るの入室ですが、学生さんが上手に遊んでくれるので帰る頃には「まだ遊ぶ～帰りたくない」と言ってくれました。お母さん方との話し合いは「育児で大変なこと」「よかったことうれしかったこと」「出産のお話」などをさせていただきました。お母さん方からも学生さんに「こども頃どうだった?」「なにをして遊んでた?」などの問いかけもあり、和やかに進行できたことに感謝しています。

2 時間目の工作は次回こられるこどもさんへのおみやげになるので、学生さん方は真剣に作成され、毎回ユニークでかわいい物が完成しました。牛乳パックを使用したわんちゃん、コマ、羽子板などを作成しました。どれもこどもたちには大好評でした。

時短授業なので、特に交流の時間は楽しく有意義な時間で、あっという間に感じました。早く元の時間で交流できることを祈っております。

最後になりましたが、コロナ禍にもかかわらず快く参加して下さった親子さん方、中止になりましたがご予約下さっていた方々、授業にご協力いただき本当にありがとうございました。

遠山美穂子

子どもが少ない時代になりました。乳幼児期は自分の記憶にほとんど残っていないので、この時期の子どもと出会う機会が少ないと、魅力も大変さも実感としてわからないまま親になってしまいます。この年代の子どもは、可愛くて、ややこしくて、不思議で、おもしろい存在です。幼い子どもと楽しい時間を過ごすとは元気になる、振り回されるととても疲れます。幼い子どもたちにとって親は大きな存在です。また、親以外の人と遊ぶと、大きな刺激になります。安心感とワクワク感は、幼児の成長の源であり、関わるすべての人の喜びです。

今年度もコロナウイルス感染対策で、大阪府の自粛要請や緊急事態宣言を受け、触れ合い授業は3回しか開催できませんでした。参加していろいろなお話をさせていただいたお母さんたちにはとても感謝しています。子どもたちにとっても貴重な機会であり、学生さんたちも、子どもたちとのふれあいを楽しみ、感じることも多かったようです。たとえ2回でも、出会うの機会が得られたことで、心に残るものがあったのではないのでしょうか。

文責：福井聖子（NPO 法人はんもっく代表）

作成：2022年3月

編集：NPO 法人 はんもっく

<http://minoh-hammock.jimdo.com>

問い合わせ E-mail: hammock\_minoh24@yahoo.co.jp



令和3年度 独立行政法人福祉医療機構 社会福祉振興助成事業の一環として開催しています。